

## 令和3年第11回総務文教常任委員会 概要報告

年月日	令和3年10月27日	会場	4階 第1委員会室	案件	所管事項の調査
出席委員	高橋伸典、山崎真由美、黒井徹、佐藤靖、清水一夫、遠藤隆男				
委員外議員	なし				
欠席委員	なし				

### 所管事務調査について

#### 【1】名寄市立大学の運営について

##### 1 オープンキャンパスの実施について

令和3年度第3回オープンキャンパスを、10月16日（土）来場型で開催した。

参加者数は114名（道内109名、道外5名）、保護者参加者数は99名であった。

また、10月23日（土）にはWeb相談を開催し、10名（道内7名、道外3名）の参加があった。

##### <質疑等>

Q オープンキャンパス参加者の主な出身地は。

A 道内は上川、オホーツク、石狩、十勝など。道外は青森、岩手であり群馬からの参加者もあった。地域枠からの参加者は5名（名寄2名）であった。

##### 2 助産師課程設置の検討について

令和5年度入学生から、名寄市立大学保健福祉学部看護学科に助産師課程を設置することを検討中であり、「ハイリスク妊産婦にも対応できる実践力のある助産師」、「地域で生活する多様な子育て世代を支える助産師」、「妊娠から出産、子育てを支援できる質の高い助産師」の育成を目指す。

##### <質疑等>

Q 助産師資格取得希望者はいるのか。また、今後の旭川公立大学との差別化は。

A 年々出産数は減少しているが、助産師資格取得希望者数は減っていない。卒業生の平均4.4人が、助産師資格取得のための1年課程に進んでいる。助産師のスキルが小児科に活かされるなど、ニーズはある。

一番の課題は実習であり、実習先探しに奮闘しているが、名寄市立総合病院と市立稚内病院に実習先を確保している。4年間で効率的に資格を取得でき、差別化を図ることができると思う。

#### 【2】総合政策部所管事業について

##### 総合政策課

##### 1 王子マテリア名寄工場敷地利活用について

本年10月に、JAG国際エナジー株式会社を事業実施主体として「地域電力小売事業及び木質バイオマス発電事業」を実施する予定であることが公表された。

今後のスケジュールは、令和4年前期までに事業着手するかどうかの判断を行い、令和7年10月頃の試験運用・試験発電の後、令和8年から売電を目指す予定である。

名寄市でも「ゼロカーボン都市宣言」を行いたい。

##### <質疑等>

Q G0サインの出る可能性は。

A 会社としては、北海道や北海道開発局を巻き込みながらやりたいとしている。

2 JR名寄高校駅愛称審査結果等について

市内中学・高等学校に通学する生徒から応募があった愛称については、200件の応募の中から審査会において「Nステ」と決定された。

「Nステ」を考案した2名（名寄高校生1名・名寄産業高校生1名）は表彰の予定である。

**秘書広報課**

1 なよろフォトコンテスト2021について

「寒いけど〇〇」を募集テーマに、なよろフォトコンテスト2021の募集を行う。

募集期間は2021年11月1日から2022年1月31日までとし、最優秀賞1名、優秀賞3名、入選6名を選考する。

〈質疑等〉

Q 利雪親雪推進市民委員会や「名寄の冬を楽しく暮らす条例」のPRになると良いが。

A 新企画ではあるが、委員会の「冬カレンダー」活動とも連携したい。

2 令和4年市民新年交礼会について

令和4年1月5日、飲食なしの交礼会を開催する予定。

**公共交通について**

「乗りやすい・乗ってみたいくなるバス」を念頭に、各委員から提出された提案及び質問をもとに、担当者も交え協議を行った。

協議内容をもとに更に絞り込みを行い、最終的に総務文教常任委員会としての提言にまとめていくことを確認した。

報告者 総務文教常任委員会副委員長 山崎 真由美